

2026年度 第1回 いっしょに考える不登校講演会

交流会
個別相談会も
開催！

不登校の 子どもたちと ゲームの世界



◆登壇者
関 正樹（せき まさき）

1977年生まれ。児童精神科医。大湫病院にて発達障害や不登校、ゲーム依存の診療に従事。地域啓発や研修講師も多数。著書に『子どもたちはインターネットやゲームの世界で何をしているんだろう?』など。

2026
9/6 14:00
日 ~17:00

参加無料

会場
定員 100名
※オンライン参加に定員はありません。

米原市役所 コンベンションホール

JR米原駅で下車、東口から徒歩1分（米原市米原1016）
※駐車場には限りがあります。会場へは、できる限り公共交通機関をご利用ください。

こんな方にオススメ！

- ◆ お子さんの不登校や登校しぶりで悩んでいる方
- ◆ 「もしかして…」と不登校のきざしを感じている方
- ◆ 不登校の子どもの支援者や不登校経験者の話を聞いてみたい方
- ◆ 学校以外の安心できる居場所づくりに関心がある方
- ◆ 教育関係者、フリースクール等民間施設関係者など不登校の子どもや保護者を支援する方



30秒でお申し込み完了！

右の二次元コードから、公式LINEアカウントにご登録ください。
ご参加までの詳しい流れはLINEでご案内致します。



“行きたくない” “行けない”の理由に 耳を澄ます



第1回 講演内容

子どもが学校に行きたいのに行けないと言い出す。
そんなとき、子どもに寄り添いたいと思いつつも、「親としてどうすればいいのか」と悩み、世間で当たり前とされていることとの間で迷ってしまうことがあるかもしれません。

この講演会では不登校について様々な視点から語ることができる登壇者と、不登校にまつわる悩みや迷いについて、一緒に考えていきます。

いろんな目線からの不登校を知り、「ちょっと楽になった」「こんな考え方もあるんだ」とちょっと気持ちが軽くなる場を目指します。

登壇者／関 正樹(せき まさき) 児童精神科医

学校に行かずゲームをしている子どもを見て、「ゲーム障害だから登校できないのでは」と不安になる保護者は少なくありません。しかし、不登校とゲームの関係は単純な原因と結果では捉えられません。
ゲーム障害の特徴を正しく知り、子どもがゲームに求めている安心やつながり、居場所としての意味を考えます。ゲームを取り上げる前に知っておきたい子どもの心と、家庭でできる声かけや関わり方を児童精神科医の視点から学びます。



プログラム概要

13:30 (開始30分前)	受付
14:00～15:30	講演会
15:30～16:50	交流会 ※会場参加者のみ
15:40～16:10	個別相談会① ※要事前予約
16:20～16:50	個別相談会② ※要事前予約
16:50～17:00	アンケート記入

交流会について

不登校の子どもを持つ保護者同士で、日頃の悩みや経験を共有する交流会です。
話を聞くだけでもご参加いただけます。

個別相談会について

心配されていることや不安なこと、また、滋賀県内で不登校や進路について相談可能な機関のご紹介など、不登校の親の会主催者やフリースクール運営者、専門家等にご相談いただけます。

※ご相談申込みは公式LINEアカウントから承っております。 ※相談可能枠に限りがございます。

今後の開催予定

LINEをご登録いただくと、第2回、第3回の「いっしょに考える不登校講演会」についてご案内いたします！

第2回・近江八幡会場

日程／11月1日(日) 会場／G-NETしが 研修室BC(近江八幡市鷹飼町454-4)

「あの頃、僕たちが
感じていたこと」

登壇者／小障子 正喜(こしょうじ まさよし) & 不登校経験者

内容／元不登校当事者のお二人から、当時悩んでいたことや、今に至るまでのお話を伺います。

第3回・草津会場

日程／1月開催予定 会場／キラリエ草津 6F 大会議室(草津市大路2-1-35)

「当事者、きょうだい、
そして親になって見えたこと」

登壇者／永峰 美佳(ながみね みか)

内容／自身の病気による長期欠席やきょうだいの不登校、そしてわが子の不登校を経験する中で感じたことや、居場所づくりに取り組むようになった経緯について伺います。